

第2回教科用図書採択審議委員会

日 時 令和6年7月11日（木）

14：30～16：30

場 所 佐世保市教育センター 中研修室1・2

○事務局 ただいまから、第2回佐世保市教科用図書採択審議委員会を開催いたします。
本日も御多用な中にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

まず初めに、前回御欠席でありました委員の皆様へ委嘱状及び人事発令通知書を交付いたします。

松野教育長職務代理者が委員の皆様の前に参りまして交付いたしますので、その場に御起立いただき、お受け取りください。よろしくお願いいたします。

○教育長職務代理者 委嘱状、下村徹様。令和7年度使用中学校教科用図書採択審議委員を委嘱します。委嘱期間、令和6年5月14日から令和6年8月15日まで。令和6年5月14日、佐世保市教育委員会。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員 よろしくをお願いします。

○教育長職務代理者 人事発令通知書、大藤和浩。令和7年度使用中学校教科用図書採択審議委員を命ずる。発令期間、令和6年5月14日から令和6年8月15日まで。令和6年5月14日、佐世保市教育委員会。よろしくお願いいたします。

○委員 ありがとうございます。

○事務局 ありがとうございました。

それでは、本日の第2回採択審議委員会の内容について御説明いたします。本日の会におきましては、採択審議委員の皆様、各教科書会社から発行されております教科書に関し、より御理解を深めていただければと考えております。

この後、各担当から教科書の特長について説明をさせていただきますので、今後の採択の参考にしていただければと思います。

なお、今後の採択審議委員会の予定について説明させていただきます。7月25日9時から選定委員会を開催いたします。この選定委員会につきましては、審議委員さんの皆様は傍聴となります。御都合がよろしければ傍聴していただき、各選定委員からの報告を参考に、同日13時より開催します第3回採択審議委員会におきまして審議をお願いいたします。

さらに、8月6日に開催予定の第4回採択審議委員会におきまして、教育委員会へ推薦していただく教科書について審議をしていただくという流れになっております。

それでは、お手元にあります会次第に沿って進行してまいります。

本日、10名の委員の皆様のご出席でございます。委員の皆様の3分の2以上の出席ということで、佐世保市教科用図書採択審議委員会条例第6条第2項にのっとり、会を進行させていただきます。

それでは、この後の進行を百津委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○委員長 改めまして、皆さん、こんにちは。5月14日ぶりの会になります。

では、本日は、今後の採択審議に当たりまして、各発行者から出されております教科書の内容について、採択審議委員会としましては理解を深めていこうということでございます。

まずは、事務局からそれぞれの教科書、今、委員さん方の前に膨大な量の教科書が並んでおりますけども、こちらの各教科書につきましての特長を事務局からあげていただきたいと思いますので、それを参考にしながら、私たちも見ていきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

かなりの量がございますので、この後、実際に教科書を手にとっていただいたり、事務局の指導主事からの説明を聞いたりする時間があると思います。

まずは、各特長を事務局から説明をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

それでは、まず、事務局から、この後の説明の流れについて説明をお願いしますでしょうか。

○事務局 失礼します。お手元のファイルの中に、今回、資料を挟ませていただいております。1つが、これから説明をいたします指導主事が作成をした資料、そして2つ目が、説明を聞きながら皆さんがメモを取っていただけるようなメモのとじた資料、そしてもう一つ、長崎県が作成をしております調査資料も挟んでおります。この調査資料は、全ての教科書につきまして、観点ごとに調査をした資料となっております。

この調査資料に関しましては、第4回採択審議委員会後に回収をさせていただきたいと思います。8月31日までは非公開の資料となっておりますので、お取扱いには十分に御配慮をお願いしたいと思います。それまでは、御自由にメモ等書き加えても構いませんの

で、どうぞよろしくお願いします。

それでは、教科ごとに各発行者の特に目立った特長について説明をさせていただきます。説明中、分かりづらいところなどがありましたら、この説明の後に教科書を研究する時間を設けておりますので、そのときに各指導主事の担当にお尋ねいただければと思います。国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保体・技術・家庭・英語・道徳の順に、説明を行っていきます。事務局からは、以上になります。

○委員長 ありがとうございました。

今、説明がございましたとおり、ファイルの中に事務局の指導主事が作成した教科書の説明資料が入っております。こちらに沿って説明をしていただけるものだというふうに思っておりますが、それに併せて、そこでちょっと気になったことなどがありましたら、メモ用紙も入っておりますので、こちらのほうにメモをしていただくことになるかと思えます。

それと、長崎県教育委員会が作成した選定資料というものがございます。書式が昨年度と変わっているようですが、これにも各教科書の特長が書かれてあるということです。これらの資料も併せて見ながら、事務局指導主事の発表を聞いて内容を確認していただければと思っております。

その後、実際に教科書を見て研究をする部分がございます。その際には、教科書の近くに各担当がおられますので、気になったところやもう少し詳しく説明をしてほしいところについては、説明を聞いていただければというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。

これから8月6日までにかけて各教科3者程度に絞っていくことになるかと思えます。私たちはしっかりと外に出していく部分を選んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

それでは、国語科のほうからよろしいでしょうか。

○事務局（国語担当） まず初めに、令和時代の国語の教科書の共通点として、4者ともに共通している点を2点御報告いたします。1点目は、自ら問いを立て、その解決のために学びを進められるようになっているということ。それから2点目は、端末活用を前提として、端末というのはいわゆるICT、パソコンですね、これを活用することを前提としていることです。二次元バーコードを読み取るなどして、動画や問題演習ができるようになっています。

そのことを踏まえ、4者ごとに説明してまいります。

まず、東京書籍です。見通す、つかむ、深める、考えを持つ、振り返るという、子供たちが考えを深めやすい流れに沿って学習課題が並べられておりまして、教えやすく、学びやすい教材でございます。

また、書籍紹介、教科書以外のいわゆる図書館にある本の紹介が豊富で、読書へのきっかけが作りやすくなっています。各学年約100冊もの書籍をカラー印刷で紹介しております。

一言で言うと、「子供たちが学びやすい教科書である」と言えると思います。

次の者にまいります。三省堂です。この教科書は、教科書を学ぶではなく、教科書で学ぶために、登場人物の人間関係や情景描写など、いわゆる読み方や考え方を教材ごとに図などを用いて分かりやすく解説しております。

それから、「語彙を豊かに」と題して、理解するための語句と子供たちが実際に使いこなすための語句を増やし、五感を磨くためにテーマごとに言葉を学ぶ機会を設けています。例えば、思い出すという言葉でしたら、思い出す、思い起こす、記憶をたどる、まぶたの裏に焼きつくなど、子供たちが非常に語彙を増やす、さすが言葉、辞書の会社だなと思いました。

一言で言うなら、「教師が教えやすい教科書である」と言えると思います。

3者目です。教育出版です。教材の前に、「学びナビ」と題した学習の仕方や目のつけどころなど、従来は教師が教えていたことを事前に生徒自身が認識した上で教材を読解するよう工夫がなされています。

さらに、全ての領域がSDGsに関連しており、学んだことが実社会で生きて、働く生徒自身が意識し、物の見方や考え方を広げられるようになっています。

一言で言うなら、「実社会とのつながりを意識できる教科書である」と言えると思います。

それから、最後です。光村図書です。動画コンテンツや漢字ドリルなど、端末を傍らに置いて国語科学習ができるよう工夫されています。

また、生徒が効率よく学習を進めていけるよう、対話の仕方や読解の方法などを図や表で分かりやすく解説しており、教科書どおりに学習を進めることで、迷いなく内容を学習できるような工夫がなされています。

一言で言うなら、「『あったらいいな』が全て含まれた教科書」と言えます。以上です。

○委員長　ありがとうございました。次に、書写です。

○事務局（書写担当）　続けて失礼します。国語の先生方が授業のよりどころとする学習指導要領、ここには、硬筆、いわゆる鉛筆ですね、硬筆による書写能力の基礎を養うよう指導することと明記をされています。いわゆる伝統的な文字文化に触れながらも、硬筆につなげることが狙いとされています。芸術的要素が高く、書道ではなく、社会生活に役立つことを目指して、書写と言われるゆえんがここにあります。各者とも毛筆教材と硬筆教材の関連が示されています。

では、順に説明をしていきます。

東京書籍です。3年間を通して、読みやすく書く、読みやすく早く書く、効果的に書く、と、段階的に実用的な内容を学ぶ教材配列になっております。二次元バーコードを読み込むことで毛筆の書き方を動画で学ぶことができるため、指導者の技能に左右されず、繰り返し筆遣いや文字のバランス等を学ぶことができます。

巻末にはノートを取り方なども記載しており、一言で言うと、「書写が生活に生きる教科書である」と言えると思います。

次にまいります。三省堂です。1年生の最初の課題のみ、手本のサイズが見開き2ページ分となっており、書道半紙と同じサイズのため、出来上がり完成図がイメージしやすくなっています。また、こちらも二次元バーコードを読み込むことで、課題の書き方に加え、こちらは名前や名前の配置など、小筆を使った文字についても解説が加えられています。教材のまとまりごとに自分の学習を振り返ることができるため、手書きで自分の考えを書く機会が設けられております。

一言で言うなら、「個別に最適化された学びを実現する書写の教科書である」と言えると思います。

次にまいります。教育出版です。この教育出版の教科書だけA B版、いわゆるマガジンサイズ、雑誌サイズで、大判になっています。資料効果が非常に高く、見て分かりやすい大きさとされています。目標、考えよう、生かそう、振り返ろうといった流れで学べるように教材が並べられており、グループで対話をしながら、そして、見やすく、早く書くためのコツを考えたり、行書の特徴や行書と仮名の調和について、友達と考えながら学習を進められたりできるようになっています。

また、国語の教科書に掲載されている竹取物語、平家物語などの教材文を硬筆で書くという課題がありますので、国語科授業で学習する教材を意識しながら書写学習を進められ

る工夫があります。

一言で言うなら、「作業になりがちな書写の時間を学びに変えることができる教科書である」と言えます。

それから、最後です。光村図書です。この教科書は、書写ブックという、ノートのような、ドリルのようなものが付属してございます。毛筆で学んだことを硬筆に生かしやすくなるように、練習帳がついています。手本については、配置が整っている、整っていない、楷書と行書など、比較することでそれぞれの特徴をつかみやすい工夫がなされています。二次元バーコードを読むことで解説動画を視聴できるとともに、発展課題のお手本も準備されており、それぞれPDFでダウンロードすることもできます。

一言で言うなら、「1時間の授業が充実する教科書である」と言えると思います。

以上で終わります。

○委員長 ありがとうございます。

先ほどから、また資料の説明の中に、いわゆる「二次元バーコード」というのが結構出てきています。委員さん方のところにも今回、タブレットが一人一台準備されています。読み込み等ができるような形になると思いますので、後ほどそこで見ていただくことになるかと思しますので、よろしくお願いいたします。

書写と国語でございました。4者ございますので、教育委員会からの御依頼では、3者フラットということになる。全ての教科がいわゆる3者フラットというふうになっておりますので、4者の中から3者を絞っていくという形になるかというふうに思っております。

次は社会科のほうですね、地理から全てございますが、併せてお願いいたします。

○事務局（地理担当） 地理は4者ございます。4者ともに、SDGsの視点が最初に盛り込まれております。また、4者ともに、地理の学習の際の学び方の視点や考え方が巻頭において示されているというところは共通点です。

それでは、まず、東京書籍について御説明いたします。この教科書では、「みんなでチャレンジ」というコーナーを単元の導入やまとめ等において設定がされております。このことにより、一人一人が、興味、関心に応じた学習を進め、それらを共有することができるようになっております。生徒同士が対話等を通じた学びを通して、自らの考えが深まるような工夫がされています。

また、各章や単元の初めには、二次元バーコードで読み取ると学習の動機づけとなるような動画が視聴できるようになっております。学習に対する生徒の興味、関心や課題意識

を喚起するような工夫がされている教科書です。

続きまして、教育出版です。こちらの教科書には、「地理の技」、「地域調査の手引き」というコーナーが設定をされております。簡単な地図の描き方や資料のまとめ方がサンプルに示してあることで、調べたことをまとめる技能を生徒が習得できるような工夫が見られます。

また、九州地方の学習で、西九州新幹線や対馬が取り上げられております。ほかにも、九十九島、雲仙普賢岳の噴火災害などについて触れられているページがあり、長崎県についての話題が数多く取り上げられている教科書でもあります。

3つ目が帝国書院です。巻頭に教科書を活用した学び方の説明が充実しているのが、この教科書です。地理的な見方や考え方だけではなく、生徒が自らの考えを整理するための様々なツールが紹介をされております。学習の中で生徒が活用する場面を設定することで、生徒の学びがより深まるような工夫がされている教科書です。

また、「説明しよう」というコーナーが、1時間の学習ごとに設けられております。これがあることで、生徒が学んだ知識を使って、自らの考えを思考し、判断し、そして表現できるような工夫がされています。

最後に、日本文教出版です。子供たちが学習で働かせる地理的な見方、学び方の視点や考え方というものが、1時間の学習ごとに示してあります。生徒が見通しを持って学習ができるような工夫がされていると思います。

また、地理プラスアルファでは、見開きの学習内容をさらに掘り下げて、写真やイラスト等を用いて生徒の興味や関心がさらに深まるような工夫がされている教科書です。

以上で地理の説明を終わります。

○委員長 ありがとうございます。次に、歴史をお願いいたします。

○事務局（歴史担当） 歴史について説明いたします。9者のうち、見本本が送付された8者の特長について、二、三に絞って説明したいと思います。

まず、東京書籍です。東京書籍は、章の初めのほうに、探究課題の設定からまとめまでの流れが提示してあり、課題解決的な学習に主体的に取り組むことができるような単元構成になっております。

また、章の終わりには、学習をまとめるための思考ツール、例えば「くらげチャート」などがございますが、そういうのも紹介してあり、学習を整理し、深める手だてが取られております。

次に、教育出版について説明いたします。最初の第1章に、「歴史ゲームで遊ぼう」や、「歴史にアプローチ」などのコーナーがあり、また、小学校時に学習した人物にはマークを示してあるなど、小学校との接続が特に意識されております。「歴史の技」、「LOOK!」等のコーナーがあり、資料を基に問いを投げかけており、歴史的な見方や考え方を働かせることができるような工夫がしてあります。

次に、帝国書院です。帝国書院は、日本と世界のつながりが重視される單元には、「世界とのつながりを考えよう」というコーナーが設けてあり、国際的な視野に立って、歴史的な特色を捉えるような工夫がされています。「アクティブ歴史」というコーナーがあり、資料から具体的なテーマを設定し、探究学習や対話など活動型の学習を通して、主体的・対語的で深い学びが実現されるような工夫がしてございます。

次に、山川出版社です。各章の扉には、日本と世界の出来事を上下に分けて示す帯年表があり、視覚的に日本と世界の流れをつかむことができるよう工夫されています。また、各世紀の世界を地図とイラストで紹介するページもあり、各時代の世界の状況を通観して、視覚的に理解できるよう工夫されています。世界遺産端島や大浦天主堂、原爆投下後の写真、島原・天草一揆の資料など、長崎に関わる題材が多く扱われております。

次に、日本文教出版です。章の初めには、資料と地図年表を見開き2ページにわたって提示することで、学習課題や見通しを立てやすくなっており、主体的な学びに向かう工夫がされております。元寇における鷹島の神崎遺跡、中華民国の成立における梅屋庄吉のコラムも提示されており、長崎に関係ある資料も多く提示されております。

自由社です。章の最後に復習問題のページを設定し、重要語句の意味や歴史的な事象に関する場所の確認ができ、基礎的、基本的な知識、技能を習得できるよう工夫されています。また、「調べ学習のページ」、「時代の特徴を考えるページ」のコーナーもあり、歴史的な見方を、考え方を働かせ、主体的な学びに向かうような学習を工夫されています。

次に、育鵬社です。章の初めには、イラストや資料を用いて「鳥の目で見ると」、「虫の目で見ると」を提示してあり、歴史の流れを把握して、章の課題と見通しを持たせる工夫がされています。「歴史ズームイン」のコーナーでは、見方、考え方を提示し、資料や学習内容について、多面的、多角的な考察を深められるように工夫されております。また、グループで調べたり、話し合ったりして取り組む活動を行う「トライ」のコーナーを設けてあり、主体的・対語的で深い学びを促しています。

最後に、令和書籍です。縦書きのA5サイズというのがこの教科書の大きな特長でござ

います。章の最後に「まとめの学習」ということで、重要語句を年表にまとめる活動を行うとともに、まとめ方の手順を示すことで、知識、技能の習得や思考力、判断力、表現力が身につけることができるような工夫がされております。資料の数を制限することで、より主体的に学ぶ姿勢を育成する大切さが伝わってくる教科書でございます。以上になります。

○委員長 ありがとうございます。次に、公民をお願いいたします。

○事務局（公民担当） 公民の教科書、6者ともに共通して言えることは、対話的な活動を取り入れた課題というものが多く設定されているということです。また、地理で学習した空間的な広がり、そして歴史で学習した時間的な広がりを組み合わせた、公民での社会の見方、考え方、こういったものを活用しながら資料を読み解いていく、意見を深めていくという手だてが取られております。

それでは、1者ごとに説明させていただきます。

まずは、東京書籍です。選挙権年齢や成人年齢の引下げを経て、18歳に向けて準備をする「18歳へのステップ」という単元といたしますか、項目が設けられております。18歳になってできるようになることとか、選挙権、契約のこと、こういったものをテーマにし、社会に参画するための手がかりとして興味を持って学習できるような工夫がなされております。

また、今後の日本の課題、もしくは世界の課題というものをテーマとした「みんなでチャレンジ」というコーナーでは、対話的な活動を通して、多面的、多角的に考察できるような問題ということを設定されているところです。

次に、教育出版です。この教育出版は、持続可能な社会というものを重要視した構成となっております。そこで、各ページの学習内容とSDGsとの関連を、どのページにも下段のほうに示されておるところです。

また、「公民の窓」というコラムを設け、本文の内容と関連する内容を踏まえ、また、そこから視点を変えたり、視野を広げたりすることによって、より公民、また現代の社会について、興味、関心を持って学習を進めることができるようなコーナーが設けられております。

また、この発行者は、巻末の法令集、用語解説等が充実しており、学びを振り返る手だてとして役に立つところもございます。

次に、帝国書院です。帝国書院は、現代の社会の見方、考え方の基となる小学校や中学

校の地理、歴史、他教科との関連する言葉というものを、各部の表紙のほうに記載されており、また、各ページの下のほうにもそれぞれ記載されており、あと学習内容を想起しながら、関連づけた学習ができるように工夫されているところです。

また、主体的・対語的で深い学びを実践することを狙いとした「アクティブ公民」というものを各章ごとに設けております。この「アクティブ公民」の中では、様々な立場の意見が出るであろう課題というものを取り上げて、自分の意見をまとめたり、また、他者と意見を交換したりしながら、思考力、判断力、表現力等を高めることができるような活動が仕組まれております。

次に、日本文教出版です。各章の最後に、まとめと振り返りというコーナーが設けられております。ここでは、用語の確認ということを中心とした、基礎的、基本的な知識、技能の習得というものがあります。また、それだけではなく、思考力、判断力、表現力等を育成するために、思考ツール、マトリックス、ピラミッドチャート、こういった思考ツールを活用した活動が設定されているところです。

また、章の初めには章の問い、各節の初めと各ページの下段には節の問い、見開きの初めには学習の課題というものがどのページにも設定されており、単元全体での学びの位置が確認できるようになっております。

次に、自由社です。「アクティブに深めよう」というコーナーが設定されています。ここでも、現代社会の問題をテーマとした社会的な見方、考え方を働かせて、学びを深めることができるような工夫がなされております。

また、重要な事柄を深く理解するために、「もっと知りたい」というコラムが近くに掲載されております。意外と知ってそうで知らない、よく考えていないという、日常の中で当たり前になっているようなところ、これをより深く記載されているところで、子供たちにとっては、「もうちょっと知りたいな」、「これどうなっているのだろう」というところをより深く学べるような手だてとして有効かと思っております。

最後に、育鵬社です。こちらは、資料に、見方、考え方、そして資料を活用というアイコンが示されておりますので、「あっ、この資料では資料を活用するのだな」、「見方、考え方をいながらこの資料を読み解いていくのだな」、そういった自分の考えが形成できるような工夫がなされております。

また、各章末には、〇〇の「これから」というものがコーナーとして設けられています。その前に、各章の初めには、〇〇の「入り口」というコーナーも設定されており、入り口

とこれからという、始めと終わりが分かりやすく明示されております。特に〇〇の「これから」というところについては、各章で学習してきたことを生かしながら、今度は友達と議論して、より課題を深めていく、理解を深めていくというようなコーナーが設定されているところです。

以上で終わります。

○委員長 ありがとうございます。次、地図をお願いいたします。

○事務局（地図担当） 地図帳は、東京書籍と帝国書院の2者です。2者ともに共通してA4判1冊で構成されております。また、2者ともユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、色覚特性のある生徒でも見分けやすいよう配慮された色彩表現となっております。

それでは、東京書籍の地図帳について説明いたします。まず、構成についてですが、世界、日本、統計、索引の4つに色分けし、各ページのインデックスも地域ごとに色分けすることで、必要な地図や情報を見つけやすくなるように配慮されております。

また、ほぼ全てのページに「B e e' s e y e」という蜂のキャラクターが問いを出しているコーナーがあり、生徒が習熟度に応じて地図や資料の使い方を主体的に身につけることができるように工夫されております。

次に、長崎に関連する部分ですが、地形図の読み取りという紙面では、長崎港周辺の地図が使用されております。また、原子爆弾投下時の長崎、対馬の浅茅湾、東山手地区の西洋風建築の図や写真が掲載され、ふるさとについて理解を深める題材が複数扱われております。

最後に、地図帳全体を通してですが、写真や図、二次元コードなどの豊富な資料が掲載されるとともに、歴史分野や公民分野、SDGsとの関連を示すことで社会的事象を広く捉えたり、深く追究したりしやすくなるよう配慮されております。

次に、帝国書院の地図帳について説明いたします。構成についてですが、目次に歴史、公民、SDGsのアイコンが表示してあり、ほかの分野と関連した学習に取り組みやすいよう配慮されております。

また、ほぼ全てのページに「地図で発見！」というクイズコーナー、全部で156問用意されておりますが、生徒が地図を活用しながら、思考力や判断力、表現力などを身につけることができるよう工夫されております。

次に、長崎に関する部分ですが、大浦天主堂の写真や出島和蘭商館跡、潜伏キリシタン

関連遺産などの位置が掲載されております。また、長崎港周辺の歴史や平和に関連した場所や建造物が記された地図が掲載されているほか、島原半島の火山災害への備えの資料が「地図で発見！」のクイズコーナーに取り上げられるなど、ふるさとの歴史や自然について理解を深められる地図帳となっております。

最後に、地図帳全体を通してですが、各地域の最初のページには二次元コードが掲載され、生徒が学習課題に応じて主体的に情報を調べることができるよう配慮されております。また、どの地図も色彩が明るく、地図上の文字や絵記号が見やすくなるよう配慮されております。

以上で地図帳についての説明を終わります。

○委員長 ありがとうございます。次に、数学、お願いいたします。

○事務局（数学担当） 7者ありますので、特長を絞って説明いたします。

まず、1者目、東京書籍です。教科書のテーマが「math connect」、つまり、数学のつながりというテーマになっており、身の回りとつながる、社会とつながる、算数、数学同士がつながるなどのページが各章にあり、身の回りや社会と数学とのつながりが分かりやすく、数学の必要性を実感できるものになっております。

また、基本的な問いの中でも、必ず押さえるべき問題にマークがついているなど、数学を苦手としている生徒でも、基本的知識、技能を習得することができるよう工夫されております。

次に、大日本図書です。例題、確かめ、問いだけではなく、活動という問題が適切に配置されることで、これまでに学んだことを生かして、調べたり、考えたりすることができます。また、各章に活用、探究の問題があり、身近な生活や教科横断的に問題を解決することができます。また、適所にある「社会にリンク」では、仕事の中で数学を生かす人物を取り上げることで、数学の有用性を理解し、学ぼうとする意欲を高めることができます。

次に、学校図書です。「計算力を高めよう」というページでは、豊富な問題数があり、授業中の計算練習や家庭学習に大いに取り入れることができます。また、各章末には、まとめの問題の前に、できるようになったことをチェックしたり、さらに学んでみたいことを記述させたりする欄があり、そこで主体的に学習に取り組む態度を振り返ることができます。

次に、教育出版です。各章の初めに「学習する前に」というページがあり、既習事項の確認ができます。また、章末には、「学習のまとめ」で主に知識について、章の問題で基

本的な技能から応用問題まで振り返ることができます。また、適所に「学びのプロセス」という問いがあり、身の回りにある諸問題について数学的に解決する過程を意識しながら、思考力、判断力、表現力を高めることができます。

次に、啓林館です。基本的に、例と問い、または例題と問いがセットになっております。問いの量も適切であり、基本的な知識、技能が習得しやすいと考えられます。また、巻末の「学びをいかそう」では、身近な題材を扱うことで数学を学ぶ意義や有用性を実感でき、さらに3年生の教科書では、発展として一部高校の数学の内容も扱っております。

次に、数研出版です。各章の初めに「ふりかえり」があり、既習事項の確認ができます。基本的に例、問いが1セットになっており、基本的な知識、技能の定着が図りやすいです。加えて、理解を深めるためのクエスチョンやトライという問題が適所に配置してあることで、既習事項を活用した問題に取り組むことができます。教科書のテーマとして、「日々の学びに数学的な見方、考え方をはたらかせる」というテーマの下、数学の学習を通して、困難な課題に立ち向かう力の育成を念頭に置いた問題構成になっております。

最後に、日本文教出版です。各章の初めに、「次の章を学ぶ前に」というページで既習事項の確認ができます。基本的に例、問い、クエスチョンというシンプルな問題構成であり、加えてチャレンジ問題があり、数学が得意な生徒にも配慮がされております。また、「学びに向かう力を育てよう」という問いが適所に配置されており、主体的に学習に取り組む態度が身に付いているかをその問題によって確認することができます。以上です。

○委員長 ありがとうございます。次に、理科、お願いいたします。

○事務局（理科担当） まず初めに、東京書籍の特長を申し上げます。こちらは、どの単元も、節ごとの課題に対し「自分の考えをまとめよう」を設定し、自分の考えを文章でまとめさせることで、知識、技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されています。また、著作関係者の中には多数の現職教諭が挙げられています。

教科書の大きさはA B判の平均的な大きさですが、3冊の教科書の平均の重さは570グラムで、最も軽い教科書になっております。

続いて、大日本図書の特長を申し上げます。こちらは、どの単元でも、学習内容を活用して表現する読解力問題や自ら課題を見つけ探究する「自由研究にチャレンジしよう」を設定することで、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されています。また、単元ごとに照明や背景の色を統一するとともに、学習活動ごとに共通のアイコンを

示すことで、学習の流れが分かりやすくなるよう配慮されています。

教科書の平均の重さは591グラムですが、大きさがB5判と最も小さい教科書になっております。

続いて、学校図書の特長を申し上げます。こちらは、単元に複数設定された探究で、仮説を検証する計画や、実験結果を分析、解釈する、結果から考察する場面を設定することで、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されています。また、紙面の左側に本文を配置したり、図版の背景を薄い青色で塗り潰したりすることで、見やすいよう配慮されています。

教科書の平均の重さは663グラム、A B判の大きさの教科書になります。

続いて、教育出版の特長を申し上げます。こちらは、資料写真を大きく掲載したり、レイアウトにゆとりを持たせたりすることで、子供の興味を高めることができるよう工夫されています。また、科学的に探究する力を育成する「疑問から探求してみよう」や、学んだことを活用し、疑問を考える「活用しよう」を設定することで、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されています。

教科書の平均の重さは670グラム、大きさはA B判を縦に3ミリ拡大したボリュームのある教科書になります。

最後に、啓林館の特長を申し上げます。こちらは、どの単元も、実験計画などを自分で考える「探Q実験」や学習した内容を活用する力試しや学年末総合問題を設定することで、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されています。また、図や写真を紙面の上部に集めることで、視覚的に対象物を認知しやすいようにしたり、図版を見開きで配置したりすることで、学習内容を理解しやすいよう配慮されています。

教科書の平均の重さは644グラム、A B判の大きさの教科書になります。以上です。

○委員長 ありがとうございます。理科は重さと大きさを書いていただいて、ありがとうございます。かなりそういうのもこれからの選定の中で重要になってくるかなと思います。

次は、音楽です。よろしくお願いいたします。

○事務局（音楽担当） 音楽の教科書は、音楽一般と器楽という大きく2種類の教科書に分かれております。発行者は、教育出版及び教育芸術社の2者です。

それでは、まず、教育出版の特長について御説明させていただきます。先ほどお伝えしたとおり、音楽科の教科書には2種類ございますが、教育出版においては、どちらの教科

書においても我が国の伝統音楽に重きを置いた構成になっております。例えば、鑑賞領域においては、おはやしの唱歌に動作を交えて表現する活動が設定されております。生徒が楽しみながら伝統音楽の鑑賞活動に親しめるような配慮がなされております。また、打楽器を取り扱ったページでは、太鼓を中心として、伝統音楽に焦点化した構成となっております。

伝統音楽以外では、歌う前のストレッチ等自然で柔軟な発声を目的としたアドバイスのためのコーナーがあり、生徒がリラックスして活動できるような配慮がなされています。

次に、教育芸術社の特長について御説明させていただきます。大まかな印象としましては、生徒の興味、関心を高めるという点に重きを置いた構成になっております。例としましては、巻頭のページをはじめとして、メディア出演の多い著名人や迫力のあるライブ風景の写真等が随所に見られます。伝統音楽だけではなく、現代音楽にも触れるための記載が多いという印象です。また、打楽器を取り扱ったページに関しましては、太鼓中心ではなく、世界の様々な打楽器を紹介することで、生徒の興味、関心を高めようという意図が感じられます。

歌唱指導に関しましては、中学生の目線に立って、変声期の悩みに寄り添ったアドバイス等が記載されております。

改めて総括をさせていただくと、伝統音楽に重きを置いた内容か、現代音楽や世界の楽器等に幅広く触れた内容かというところで、それぞれの特長やよさがあると捉えることができます。以上で音楽の教科書についての説明を終わります。

○委員長 ありがとうございました。次に、美術についてお願いいたします。

○事務局（美術担当） まず、3者に共通するところでございますが、各ページに学習目標を3観点で明示をしてあるというところ、それから、二次元バーコードを活用し、様々なコンテンツが見られたり、活用できたりするというところがあげられます。

それでは、それぞれの教科書について説明をさせていただきます。

まずは、開隆堂です。開隆堂は、生徒の興味、関心を高める魅力ある教科書というところを目指されております。まず、表紙に大きな、有名な絵画が載っているのですが、凹凸がしっかりと感じられるような表紙となっております。後ほど見ていただくときに、実際に触っていただければと思います。また、最新のアニメーション映画である「すずめの戸締まり」や人気漫画の「ブルーロック」など、中学生が身近に感じている関心が高い作品を取り入れることで、興味、関心を高めるものとなっております。

また、二次元バーコードから基本的な技能の紹介動画の閲覧や教科書以外の作品を提示したりすることはもちろんですが、ワークシートを1人1枚、端末にダウンロードして活用したりすることができるなど、主体的な学習のサポートができるように工夫がされています。

A4ワイド判の大きさを生かしながら、鑑賞作品は見開きになっており、かつ一部原寸大で表すなど、豊かな資料をたくさん掲示されています。

続きまして、光村図書です。構成のところ、申し訳ございません、A4判と書いておりましたが、A4ワイド判の間違いでございます。申し訳ございません。

光村図書は、豊かな感性を育む、創造的な力を培う、生活や社会につなぐというところをテーマにされています。鑑賞と表現というところに分けて、生徒に分かりやすく造形的な視点を提示すること、鑑賞と表現を関連させていくという紙面構成になっています。キャラクターや身近な生活との関連を用いながら、生徒に分かりやすく伝える工夫がなされています。

また、二次元バーコードの中から「書き込みツール&高精細画像」というツールにアクセスすることができ、実際の作品に自分なりに手を加えたり、書き込みができたりするなど、コンテンツを扱うことができるように工夫がなされています。また、同じくコンテンツの中には、全国の中学生の作品を見ることができるようなサイトもございます。

光村の構成のほうですが、3冊構成となっております、その1つ、別冊の資料では、学校美術で学ぶことに必要な技法や色の資料などがまとめており、必要なときに利用することが可能となっております。また、ユニバーサルデザインの観点から、「全ての生徒に使いやすく」を目指し、特別支援教育の配慮も十分になされているところが特長になります。

最後に、日本文教出版です。日本文教出版は、3年間の成長を後押しする教科書ということテーマにつくられています。構成のほうで唯一、3冊の教科書を3年間で使うという設定をなされています。これは、学習指導要領の中で第2学年と第3学年の発達と特性を考慮するということが新設されています。思春期を迎える2年生、3年生に対して、その発達段階、学びに応じた対応ができるということで、3冊構成になされています。

また、美術科のキーワードである造形的な視点というのも明記し、学習における着目点をわかりやすく提示されています。また、生徒自身の身の回りや生活や社会と学びを関

連させたり、他教科と関連させた教科横断的な指導ができたりする工夫がなされております。

以上で美術の説明を終わります。

○委員長 ありがとうございます。次に、保健体育をお願いいたします。

○事務局（保健体育担当） 保健体育科は4者で、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研がごさいます。それぞれの特長について御説明をさせていただきます。

まず、東京書籍になります。見開き1ページが1時間の構成となっております。その中で、ページの左側に本文を、右側に資料を集約することによって、非常に見やすい構成となっております。また、各ページ統一された場所に二次元バーコードが設置されており、生徒にも非常に分かりやすい構造となっております。

また、各章末には、学習のまとめを二次元バーコードで設けてあります。キーワードや章末の問題をその二次元コードの中で確認することができ、生徒の理解をさらに深めるような工夫がされております。

また、巻末にはなりますが、命や健康を守る20のスキルというものが載っております。熱中症対策や自転車の安全利用はもちろんなのですが、リラクゼーションの方法であったり、インターネットによるコミュニケーションとトラブルというような、生徒が非常に悩んだり、困ったりするであろう対処法のスキルが20、巻末に表示をされております。

また、東京書籍は、資料が非常に豊富に載っております。豊富に載っているのですが、その説明も端的で分かりやすく紹介をされております。

また、各章末には、その章で学習したことをSDGsにつなげて考えるデジタルコンテンツが、ワークシート付きで設けられております。

続いて、大日本図書になります。心肺蘇生法の手順が折り込みになっています。折り込みになっていることで、一連の流れが一目で分かりやすく、ページを行ったり戻ったりすることがなく、分かりやすい工夫が目立ちました。

また、明るい色彩の表紙をめくると、スポーツを行う人だけにクローズアップしたものではなく、スポーツを見たり、支えたりする人の写真であったり、オリンピックやパラリンピックで活躍している選手の写真、私たちの生活とスマートフォンなど、生徒の興味を引くような魅力的な口絵から教科書が始まっております。

また、この大日本図書も見開きページで1時間の内容になっているのですが、見開いたページの左側が本文、右側が資料というふうにまとめることで、こちらも見やすい構造と

なっております。

また、授業の導入部分で使う「つかもう」では、生徒にとって非常に身近な分かりやすい題材を取り上げており、端的に掲載することによって、授業へのスムーズな流れが期待されます。

3つ目、大修館書店になります。こちらは、デジタル教材が豊富に掲載をされております。本文の資料を動画で詳細に確認することができる動画コンテンツ、生徒が調べ学習をする際に必要な情報が掲載をされている「Web 保体情報館」、また、生徒が話し合い活動やディスカッションをできるように工夫された「Web ワークシート」、その章で学習することをクイズ形式で振り返ることができる「保体クイズにトライ」など、デジタル教材が豊富に掲載をされております。また、章の一番初め、章の扉には小学校で学習したこと、今回、中学校で学習すること、そして高校が学習をすることが詳しく掲載をされており、系統的に指導を確認することができます。

また、この大修館書店では、章のまとめの見開きのページとなっております。見開きになっており、知識、技能や思考、判断、表現、主体的に学習に取り組む態度など、項目ごとに問題が設定をされており、生徒が何を問われているのかということが客観的に分かりやすく工夫をされて掲載をされております。

最後は、学研になります。こちらも見開き1ページで1時間の内容が掲載をされておりますが、文章の行間にゆとりがあり、目にも優しく、1行も詳しく掲載をされており、全体的に見やすいという印象を受けております。また、発育、発達の学習においては、LGBTQなど多様な性についての説明が詳しく掲載をされており、正しい情報を生徒が得ることができます。

各ページに二次元バーコードが掲載をされており、関連情報のみならず、ワークシートもダウンロードできるようになっているのがこの発行者の特長であると考えられます。

以上で、保健体育科の説明を終わります。

○委員長 ありがとうございました。

次に、技術をお願いいたします。

○事務局（技術担当） 技術は、3者ございます。まず、東京書籍からです。各年、このような構成となっております。また中身、各単位につきましては、「レッツスタート」、「学習課題」、「調べてみよう（やってみよう）」、「まとめよう」という学習の流れで、興味、関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を身につけやすいよう工夫がされており

ます。また、本文を左揃えにすることで検索性を高め、目線を自然に流すことができます。全ての見開きページ右上には二次元バーコードがございます。中には、シミュレーションや思考ツール、他教科とのリンク、クイズが掲載されており種類が豊富でございます。ページの角に学習内容に関連した技術の工夫を掲載し、学習を深めるヒントを示しております。なお、ここでは、トマトの品種改良について、江戸時代に長崎から日本に伝わったことが掲載されております。

続きまして、教育図書です。各年、このように構成されています。どの内容も簡単な題材をつくりながら、最初に基礎を学べるように工夫がされております。各単元は、「見つける」、「学ぶ」、「振り返る」という3ステップの学習の流れであり、分かりやすくなっております。重要語句は、青の太文字で表示し、文字も全体的にやや大きめです。随所に二次元バーコードが配置されており、その内容に係る資料や動画を開くことができます。中には、日本語をベースにしたプログラミング言語サイトとのリンクがあり、そのまま実習で使うことができます。別冊として、技能資料を収載したり、巻末に各内容の実習に係る設計計画シートが切り取りで利用できたりするなど、実習に取り組みやすい工夫があります。巻末に、本県の長崎市科学館が掲載されております。

最後に開隆堂です。各編を基礎・基本、問題解決、技術と私たちの未来の3つで構成されています。各単元は、「学習課題」、本文、「チェック」という学習の流れを基本としております。また、学習課題や「やってみよう」として問いを示すことで、興味、関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を身につけやすいようになっております。章の初めに、小学校や他教科とのつながりが掲載されており、教科横断的な学習につなげやすいようになっております。随所に二次元バーコードが配置されており、その内容に係る資料や動画を開くことができます。教科書の回答もここに掲載をされております。ページ角に、学習内容に関連した豆知識を掲載し、学習を深めるヒントを示しております。

最後になりますが、生物育成の資料に、本県のゆめのかが掲載されておりました。以上です。

○委員長 ありがとうございます。次に、家庭科をお願いいたします。

○事務局（家庭科担当） 家庭科につきましては、東京書籍、教育図書、開隆堂の3者から教科書が出されています。まずは、共通した特長、次に各者のポイントについて御説明させていただきます。共通した特長としましては、3点あります。1点目は、どの教科書も3学年で1冊の構成になっております。2点目は、二次元バーコードが随所に配置され、

生徒が端末を使って手軽にデジタルコンテンツにアクセスできるようになっております。

3点目は、食品などの写真が実物大で掲載されております。さらに、100グラムがどれくらいか等、実感を伴いながら理解を深められるようになっております。

次に、各発行者ごとのポイントについてです。東京書籍ですが、学習の初めに「レッツスタート」と称して、生徒自身が課題を設定し、学習に向かうことができるような問いかけがなされています。また、食生活や衣生活の部分では、「いつも確かめよう」というコーナーを設けており、基礎的・基本的な知識をそこで分かりやすく示し、日常生活で使うことを促しながら定着を図るような工夫がされています。また、この教科書の二次元バーコードには、関連がある小学校の教科書も掲載されておりました。

次に、教育図書です。「見つめる」、「見つめてみよう」、「学ぶ」、「ふり返る」の過程で学習活動を構成することで、見通しを持ちながら学び、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができるような工夫がさせています。また、「話し合ってみよう」「考えてみよう」と称し、習得した知識や技能を使って活動する内容があり、思考力・判断力・表現力を育成できるようになっています。さらに、各章の最後には、社会で活躍する方などからのメッセージを掲載することで、学習したことを将来の生活に生かそうとする態度が身に付けられるようになっております。

最後に、開隆堂です。学習の初めに、「あなたは」というような書き方で、生徒がこれまでの自分自身の生活を振り返られるような問いかけからスタートしており、生徒は学習課題を自分事として捉えられるようになっております。また、学習内容を基に「学習のまとめ」として記述式の振り返りを設定することで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付いたのかを確認しながら学習を進められるように工夫されています。そして、「やってみよう」「考えてみよう」などに小課題を設定し、課題解決に繰り返し取り組ませることで思考力・判断力・表現力を育成できるよう工夫されています。家庭科は以上です。

○委員長 ありがとうございます。次に、英語をお願いいたします。

○事務局（英語担当） 英語は6者ございます。全ての発行者におきまして、構成、題材、1年生における文法事項の配列、その他という視点で特長をまとめてみました。いくつか、かいつまんで御説明いたします。1つ目、東京書籍です。東京書籍では、1年生で数か国が題材として扱われており、生徒が世界に目を向けられるようになっております。また、2、3年生の教科書では、巻末資料として各ユニットの題材資料が載っております。それを先生方が授業づくりのときに参考にできたりですとか、生徒が興味・関心に応じて自分

で活用できたりできるような内容になっております。

2 目、開隆堂です。開隆堂では、複数単元のまとめとして「Our Project」が設定されております。ここでは、コミュニケーションを行う目的、場面、状況等が設定されており、生徒が興味を持って英語活動を行えるように工夫されております。また、国語科などで通常取り扱われることの多いポスターセッションやディスカッションなどを英語で行うような場面設定もなされておまして、生徒の発進力を育成するための手だてとなっております。

3 目、三省堂です。三省堂では、文法事項の配列として特長的なのが、レッスン 4 で過去形が登場することです。現行の教科書では、レッスン、ユニット 9 くらいに登場いたしますので、1 学期末から 2 学期初めにこの教科書では過去形が登場することになります。また、「Take Action!」という教科書の単元では、映画館ですとか実際の生活場面の状況に応じて、英語活動が展開できるように工夫されております。

4 目、教育出版です。教育出版では、各学年の目次に SDGs のマークが掲載されております。どの発行者においても、SDGs は取り扱われておりますが、目次に SDGs のマークがついているのはこの教育出版のみになります。また、この教育出版におきましても、過去形の学習が早く、1 学期に扱うような流れになるかと思えます。小学校との接続の関係で、小学校で学んだ表現の取扱いが 1 学期のほうに入ってきているというふうに考えられています。教育出版では、プロジェクトという単元のまとめの掲示があるのですが、ここでは思考ツールが掲載されておまして、生徒が言いたいこと、書きたいことをまとめて、その後、書けるような手だてが立てられております。

5 目、光村図書です。光村図書では、レッスン 1 で can、「～できる」の学習が入ってまいります。普通、現行の教科書でいきますと 2 学期中盤で学習する内容ですので、教科書では早く出てくる形になります。また、巻末のほうに「英語の学び方ガイド」が掲載されておまして、生徒が自主的に学習するときに出会うであろう困り事のアドバイス等が掲載されております。

最後に 6 目、啓林館です。啓林館では、各構成、いくつかの単元におきまして、「Read & Think」というものが設定されております。ここでは、まとまった量の例文が掲載されておまして、読み物に特化した単元以外では、ほかの教科書会社に比べると長い読み物になっているかと思えます。また、この啓林館におきましても、文法手法としては、1 年生で can を学習するタイミングが現行の教科書よりも早いという特長がござ

います。全ての教科書会社におきましてデジタル教科書の見本をお示しできますので、もしよろしければ後で御確認ください。以上です。

○委員長 ありがとうございます。最後に道德をお願いいたします。

○事務局（道德担当） 道德は7者ありますが、今回、道德ノートを採用しているのは、日本文教出版の1者のみとなっております。7者に共通して言えることは、挿絵や写真が見やすい大きさに適切に配置されており、教材文がより読みやすくなるよう工夫されています。中には、漫画や絵本を入れている発行者もあり、興味関心が高まるよう配慮されています。

それでは、各者、特に目立った特長のみ1項目ずつ紹介していきます。

まず、1者目、東京書籍です。いじめ問題、生命の尊さ、情報モラル、SDGs、多様性などの現代的な課題について、発達段階に則した教材を取り扱っており、自分自身との関わりの中で考えを深めることができるよう配慮されています。

2者目、教育出版です。2年生の教材に、長崎市の山王神社のクスノキが紹介されており、本県への関心や郷土への思いを高めることができるよう配慮されています。

3者目、光村図書です。全学年の巻末付録に、日本各地の伝統文化や地域の特色を生かした取組などが紹介されており、社会の一員として主体的に行動し、社会に参画することの意義を考えることができるよう配慮されています。

4者目、日本文教出版です。複数の教材とのコラムで構成したユニット、「いじめと向き合う」や「よりよい社会を考える」を、それぞれ年間に複数配置することで、いじめや社会問題を自分のこととして考えることができるよう配慮されています。

5者目、学研です。内容項目、「生命の尊さ」の教材を重点的に扱い、他の内容項目においても「いのちの教育」に関連する教材を多く取り入れることで、生命を尊重する心や人権を重んじる心を育むことができるよう配慮されています。

6者目、あかつきです。カップヌードルで有名な安藤百福さんやネルソン・マンデラさんなどの先人や、大谷翔平さん、池江璃花子さんといったスポーツ選手など、挑戦し続ける人物を取り上げることでよりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されています。

最後、日本教科書です。1年生の教材に、本県出身のサッカー日本代表の監督、森保監督がワールドカップでの試合後に見せた声が紹介されており、本県への関心や郷土への思いを高めることができるよう配慮されています。以上です。

○委員長 ありがとうございました。

これで、全教科分の説明が終わりました。これから先、今ありました事務局からの説明を踏まえまして、各教科の内容を研究していただく時間を取りたいと思います。16時20分を目安とします。各教科書、今、説明をしていただいた部分の中で、「もう少しここを見てみたいな」とか、「さらにもう少しここが聞きたいな」という部分がありましたら、積極的に事務局の指導主事にお尋ねしていただきたいと思います。

事務局の指導主事の方々は、座席に貼り紙が貼ってありますので、そちらのほうで対応をお願いしたいと思います。では、よろしくお願いいたします。

〔教科書研究〕

○委員長 では、すみません。事務局の皆さん、本当にありがとうございました。丁寧に説明をしていただき、本当にありがとうございました。

では、委員の皆様見ていただいて、何か、全体的な部分で御意見とかあるいは御質問がございましたらお願いしたいのですが、ございますか。

今回、見ていただいた部分の中で、特長等をあげていただいた部分を確認しながら見ていただいたのかなというふうに思っております。次からは、これから各教科3者程度に絞っていくことになると思うのですが、全体の中で何か御意見あるいは御質問等がございましたらお願いしたいのですが。

○委員 すみません、1件だけいいですか。内容についてではないのですが、今回、理科の教科書説明の中で、重さの部分についてご指摘をしていただいたのですが、ここで思ったのが、小学校1年生は結構教科書を持って、このままランドセルを背負っていく。それが負担になっているというようなことをよく耳にするのですが、そもそも、教科書は紙ベースで残っていくものなののでしょうか。これから、デジタル教科書になっていくのでしょうか。

○委員長 小学生が10キロぐらいを背負っていくというふうに思うのですが、中学校の場合には教科書を置いて帰ったりしているのでしょうか。

○事務局 学校では教科書を持って帰るか、置いて帰るか、もう自由にしているところが多いです。重たいですから、置いていっていいことに。タブレットは持って帰ってもいいというようにしています。デジタル教科書も英語科は全部の学校に入っていますし、数学は半数の学校に入っています。紙の教科書とデジタル教科書の併用ですね。

○委員長 最終的には紙ベースではなくなってくる動きになってくるようでしょうけど。

○委員 当面はこの紙ベースでの教科書が続いていくということの理解でいいですよ。

○委員長 この4年間は従来通りで、これから先はそこが変わってくる可能性は大いにあるのかなと思います。

○委員 うちの子も宿題を家でやっている途中で、もうすぐに親に聞いてくるんです。

「ここってどうすればいいかな」って。そのとき、「教科書を見なさいよ」と言うのですけれども、教科書を学校に置いてきたら、そのように言えないなと思って。教科書が電子化され、もうこれを1つ持って帰るだけで済むということであれば、子供たちの学びもより深まっていくのではないかと、個人的な意見ですが思いました。

○委員長 それが一番だと思います。委員さん方、皆さんいらっしゃる中で、それぞれの立場の中で来られていると思います。学校関係の方々もいらっしゃればPTAの方々も、あるいは大学の先生、地域の方々など。それぞれの立場の方からの御意見が一番大切だと思いますし、我が子に、「どの教科書が一番いいのだろうか」という思いはとっても大切なことだと思いますので、ぜひ、そういうのはとてもいい質問だと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

ほかに何かございませんか。よろしいでしょうか。

私のほうからも、二次元バーコードがかなり教科書に掲載されているのですが、現場として、例えば小学校、中学校の現場として、二次元バーコードで接続が厳しいというようなことはないのでしょうか。集中してしまって、繋がらないというようなことが。

○委員 今のところはないですね。小学校の教科書に載っている算数でも二次元バーコードを読み取って授業をしているのですが、そんなに一斉に繋げてするということはないので、止まるということはないです。

○委員 前は一部の中学校でありましたが、今はずいぶん解消されています。

○委員長 全国規模の中でいきますので、基本はやっぱり子供たちが授業をしている時間帯の中で、全国で例えば社会なら社会の授業があって、集中した場合、なかなかそこが繋がらないということはないのでしょうか。

○委員 全国学力・学習状況調査をみんなでやるぐらいの規模だったら、ちょっと危ないかもしれませんが。

○委員長 その点では、佐世保市は大丈夫なのでしょうか。

○委員 現在、学校訪問等で教育センター等がスマート・スクール・SASEBO推進室のほうも実際に学校訪問に行かれ、実際に接続状況とか聞き取りもされていて、聞き取り

の中でちょっと接続が悪いというような学校がもしあったら、それは直接、電話会社のほうにも連絡をとりながら、接続がうまくいくようにという交渉もしておりますし、次の入れ替わりの時期になりますので、そのときの容量の問題であるとか、そういったことも解決の方法に向かわせて行きたいと思いますので、今の御意見も踏まえながら施策のほうに生かしていきたいと思います。

○委員長 これから選定をしていくときに、教科書ベースもそうなのでしょうけど、いわゆる二次元バーコードの中がどれだけ充実しているのかというのは、非常に採択の中の大きな位置を占めてくる部分かなと思いますので、そのときにそれが十分に使えないとか、止まってしまうとか、固まってしまうというのであれば、もう本末転倒かなと思います。

○委員長 ほかに何かございませんでしょうか。

それでは、本日の審議のほうは以上にいたしますので、事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 失礼します。第3回佐世保市教科用図書採択審議委員会を7月25日木曜日、13時から開催をいたしますので、御出席のほう、よろしくお願いいたします。

また、あわせて同日、7月25日の木曜日、9時から選定委員会を開催いたします。案内のほうも送らせていただいておりますけども、こちらも傍聴していただき、審議の参考としていただければというふうに思っております。

それから、一番初めのほうで御説明をさせていただきましたけども、配付しています資料はお持ち帰りになって研究されることは構いませんが、非公開の資料となっておりますので、もしお持ち帰りになられる場合には、取扱いにはくれぐれも御留意いただければというふうに思っております。

それから、本日、会の終了後、しばらくですが教科書を閲覧していただけるようにしておきたいと思いますので、もしお時間があらましたら、どうぞ御自由に御覧になっていただければと思っております。事務局からは以上になります。

○委員長 ありがとうございます。

今、いろいろとたくさんの資料等がございます。今日、聞きながら、また読みながらの会ということで、かなりタイトな作業だったと思いますので、資料の中でゆっくり読んでみたいということがございましたら、持ち帰っていただいても結構という話がありました。ただし、事務局のほうに、これちょっと抜いていきますというような御連絡はしていただければなというふうに思っておりますので、そちらのほうもまたよろしくお願いいたします。

す。なお、現在のところ、この資料等についての取扱い、また十分に注意していただくことになるかと思いますので、こちらのほうも併せてよろしくお願いいたします。

○事務局 本日は、長時間にわたる調査研究に御協力いただきまして、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、第2回佐世保市教科用図書採択審議委員会を終了いたします。お疲れさまでした。